

2022年

秋号

ふくしまで働く

○発行
福島労働局
職業対策課
☎024(529)5438

「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと
思っている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策や求人
情報等を発信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

特集

- ・田村市長からのメッセージ
- ・あゆみ わが社の今
「株式会社福島しろはとファーム」

福島県雇用情勢(2022年9月)

有効求人倍率(受理地別) 1.50倍(全国16位)
(就業地別) 1.58倍(全国20位)

有効求人は、減少傾向ではあるものの保健師、一般事務、介護サービスなど
37,991人分の申込みがあります。

個別の求人は、全国のハローワーク、インターネットで検索ができます。

※有効求人倍率/ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。
1を上回ってれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。

田村市

復興にかける想い 避難されている方へのメッセージ



白石 高司 市長

故郷を想い、今もなお避難を余儀なくされている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

平成26年4月1日にいち早く避難指示が解除された田村市では、避難された住民の帰還のため、除染をはじめ、公共施設等のインフラ設備の復旧、学校の再開、商業施設、企業誘致等を進めたことで、帰還率は85%程度まで回復しました。しかし、全住民の帰還や風評被害などの継続的な課題に加え、震災以降、特に加速した少子高齢化などの社会的課題、さらに、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的混乱は、私たちの生活を一変させました。

これらの課題解決には、田村市の持つ魅力である、「人」、「自然」が原動力となり、産業をはじめ、歴史・文化など、今ある地域資源を活かして地域の活力を高めることが重要であり、その実現に向け、今年6月に策定いたしました第2次田村市総合計画の将来像として、「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち 田村市」を掲げ、以下の5つを大きな柱として、施策を推進してまいります。

1【働きたいまち】

暮らしを支える経済基盤の強化のため、事業者や起業家の成長・発展による地場産業の活性化（エコノミックガーデニング）を図るとともに、創業・起業者向けのスタートアップ支援や就業支援など、誰もが活躍できる働きやすい環境の整備を実現します。

2【学べるまち】

人材育成と夢を叶える環境の実現のため、学校教育では、世界に羽ばたく子供たちを育成する英会話力の向上、生涯学習では、各種講座など生涯にわたり楽しみと生きがいを生み出す生涯学習の充実を図ります。

3【安心と絆のまち】

健康・医療・福祉と子育て環境の充実を図るため、(新)市民病院の開設や運動サロンの市内展開などによる健康寿命の延伸、さらには、妊娠・出産・育児に対し切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センター（にこたむ）の充実を図ります。

4【住みたいまち】

将来を見据えた都市整備と減災対策を推進するため、都市拠点・地域間拠点の連携により生活や産業・経済を維持する「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えや、デマンドタクシーの再整備による公共交通の利便性向上を図るとともに、地域の防災力を高める自主防災組織整備事業、さらには、本市の新たな活力となる人材を呼び込む「移住定住事業」を推進します。

5【支えあいのまち】

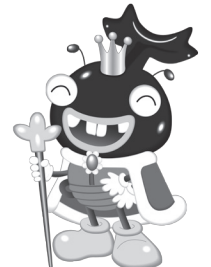
以上、4つの柱の実現には、市民の力の結集と魅力等の情報の発信が必要であることから、市民とともに地域課題等を解決するコミュニティの場づくりや、田村市の認知度を上げるシティプロモーションを推進し、市民が地域を元気にするまちづくりの実現を目指します。

今年は、田村市内の魅力ある桜を選び、その情報を発信する「たむらの桜88撰総選挙」や、自然と共生し、生態系の維持に深く関わっている昆虫の持つ魅力について考える「第1回全国クワガタサミット」を開催するなど、地域資源の活用を図ってまいりました。

このように、地域資源を発掘し、5つの柱を組み合わせることで相乗効果が生まれ、新しい価値の創造や地域の課題を解決する取組みを実行するとともに、全世代が安心して暮らし住み続けたいと思うまちづくりを推進してまいります。

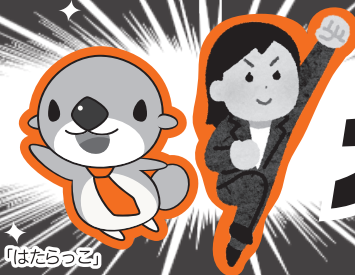


第1回全国クワガタサミット集合写真



カブトン(田村市ゆるキャラ)

ふくしまで 働きたい人



大集合!

最新! 体験レポート!

みんな読んでね!



応援してくれる人がいる! S.Y様 40代 福島県

前職を退職してから就職活動をしていましたが、なかなか決まらず、数十社不採用が続いていました。そんな時ハローワークでチラシを見かけて、面接会が開催されることを知り、参加することにしました。面接会の前には、事前就職相談会という面接会の事前準備を行えるイベントがあると案内頂いたため、そちらにも参加してみることにしました。



【事前就職相談会に参加してみた】

出展企業がどのような人材を求めているかを知る事が出来たし、事務職を希望している私にとっては、複数ある企業からの的を絞ることが出来ました。相談員からは「現時点で求人が出されていないけど、面接会当日に募集を開始することもあるので、気になる企業のお話を聞いてみると良い」とアドバイスをもらいました。就職活動はどうしても孤独で、狭い視野でしか物事を見ることが出来ないことがありますが、こうしたアドバイスや福島県状況、同じように就活している人の様子も聞けたので良かったです。



【面接会に参加してみた】

アドバイスを受けた通り、面接会では私にもできそうな求人を出している企業のところでお話を聞いてみることにしました。すると、パソコンを使った製造業のお仕事があり、企業に直接聞いてみないとわからない事だったので、大きな収穫でした。午前の部のみ参加する予定でしたが、協議会スタッフの方から「心が惹かれる所があれば、お話しだけでも聞いてみたいかがですか」と後押しいただき、急遽ダメ元で午後の部も参加する事になりました。以前から気になっていた企業が1社あったため、そちらのお話を聞いてみました。その企業が作っている製品を使用したことがあり、とても良い製品だと感じておりました。働くなら、お客様に自信を持っておすすめできる製品を作っている会社が良いなと思っていました。その場で働きたい気持ちを熱意込めてお話ししました。すると「まだ求人を出していないけど、これから事務職に近い求人を出すので、一度工場見学に来てみませんか?」とお誘いをいただき、喜んで見学させていただくことにしました。憧れの企業だったので見学は楽しく、意見交換をたくさんさせて頂きました。

後日、面接を受けて見事採用となりました!これも協議会のアドバイスがあったからこそこのチャンスでした。面接会に参加したから掘めたんだと思います。皆様にも「素直に且つ素早く積極的に行動すること」をお勧めします。



【求職者カフェを利用してみた】

求職者カフェでは、パソコンを借りて履歴書等を作成出来たうえに、履歴書や証明写真撮影が無料だったので、何十回と履歴書を書いた身としては、経済的にも大変助かりました。また、志望動機に悩んだり、働き方に迷ったりしたとき、適切なアドバイスを頂けたので、大変有難かったです。不採用が続いても「応援してくれる人がいる!」と思えるだけで心強かったです。



私がここまでこれたのも協議会をはじめ、求職者カフェのスタッフ、ハローワークのマザーズの方々等のサポート、周りの皆様の応援のお陰です。私も、これがゴールだとは思っていません。これからもお仕事の内容に適した勉強をしながら努力したいと思います。本当にありがとうございました。

イベント・面接会・企業見学会・
就職相談など随時開催中!



就職相談

就職活動の悩みありませんか?

☎ 電話で相談(専用フリーダイヤル)

0120-810-650

✉ メールで相談

24時間受付

お問合せ先

福島広域雇用促進支援協議会

TEL:024(524)2121



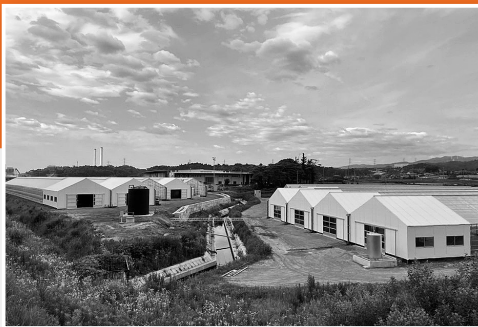
平日

9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 16:30

働きたいネット



検索



あゆみ わが社の今 株式会社 福島しろはとファーム

【事業所紹介】

所在地：双葉郡 檜葉町

事業内容：さつまいもを原料とするお菓子の会社の農業生産、管理部門です。
業務内容は、直営農園での、農産業務(土づくりから育苗、定植、収穫作業まで)、帳票類の記入、仕入れ入力、売上げ入力等

『株式会社 福島しろはとファーム』は、大阪府に本社を持つ白ハト食品工業株式会社が復興支援の一環として2019年福島県檜葉町に設立したグループの農業生産法人です。

檜葉町・JA福島さくら・東京電力HDと、『檜葉町における東日本大震災からの復興に向けた農産事業再生に関する4者協定』を締結し設立致しました。

2017年に檜葉町の耕作放棄地等で5haの面積でさつまいもの試験栽培をはじめ、2年目に13ha、2021年には約45haと年々栽培面積を広げてきました。



2020年9月には檜葉町が最大1,260トンのさつまいもが保管できる世界最大規模の甘藷(さつまいも)倉庫を建設。JAさくらに甘藷部会が発足し、さつまいもの生産者も増え、更なるさつまいも生産事業の拡大へと取り組んでいます。



2022年7月には、110haの畑に苗を供給できる檜葉町甘藷(さつまいも)共同育苗施設「福島しろはとソーラー育苗ハウス」(6,900㎡面積)が完成し、新規就農を希望される方には、さつまいもの苗から畑、さつまいも生産までフルラインでのサポートが可能になりました。

また、2020年からさつまいもの株オーナー制度をスタート。苗植え、収穫の際には地元の方を招いたり、地域の子供たちとの収穫体験会を実施するなど、何よりも地域の方々との触れ合いを大切に、施設、圃場を積極的に開放し、オープンな農場運営を目指しています。



これからも私たちは、さつまいもの生産を通じて安心安全で美味しいブランドさつまいもの開発、さつまいもを通じた地域交流、さつまいも農業でのSDGsの実現に取り組み、檜葉町の子供たちがキラキラとした笑顔で暮らせる町作りに貢献していきたいと考えております。

「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク

都府県	名 称	住 所	TEL
宮城県	ハローワーク仙台	仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル5F	022(299)8820
山形県	ハローワーク山形	山形市桜町2-6-13	023(684)1521
	ハローワーク米沢	米沢市金池3-1-39 米沢地方合同庁舎内	0238(22)8155
埼玉県	ハローワーク行田	行田市長野943	048(556)3151
東京都	ハローワーク飯田橋 東京交通会館分室 ※令和2年4月1日にハローワーク品川から業務移管しました。	千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F	03(5288)6115
新潟県	ハローワーク新潟 ときめきしごと館	新潟市中央区弁天2-2-18 新潟KSビル1F	025(240)4510
	ハローワーク柏崎 まちなか相談室	柏崎市東本町1丁目15-5 フォンジェ S C 棟地下1F	0257(24)0810
大阪府	ハローワークプラザ難波	大阪市中央区難波2-2-3 御堂筋グランドビル4F	06(6214)9200

<「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク連絡先>

求職者支援制度を利用して働きながらステップアップしませんか!!

★福島県内での訓練メニュー

- パソコン基礎科
- 医療事務科
- パソコン応用科
- 経理事務科
- DTP-Webデザイン科
- 農業技術習得科 等

県内の訓練全般のことはこちらから



もよりのハローワークはこちらから



シフト制で働く方や
求職中の方へ



厚生労働省福島労働局・ハローワーク

ふくしまの12市町村での暮らし考えてみませんか？

支援センターの役割

広域戦略等

- 全国の移住に関心を持つ層への情報発信
- 仕事や住まいの情報提供
- 移住体験ツアー等の企画実施

移住支援等





- 市町村、まちづくり会社、移住希望者の支援
- 12 市町村への移住希望者相談対応
- 市町村との連携事業の実施

ノウハウ蓄積等

- ノウハウの蓄積及び共有
- 全国の先進事例等の調査・分析

ふくしま12市町村移住ポータルサイト

未来 
 # ワーク
 # ふくしま

- 「ふくしま 12 で働く」のご案内
就職や起業に関するサポート 
- メルマガ登録のご案内
移住に関する最新情報をお届け中！ 
- 支援制度のご案内
交通費等補助金など各種支援金 
- お問い合わせ先
ふくしま 12 市町村への移住を考え
られている方に 

ふくしま12市町村移住支援センターは、2021年7月1日に12市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）への移住・定住を促進するため、広域連携が効果的な事業や12市町村による移住施策の支援等を行うため福島県が設置しました。12市町村の移住・定住の促進に向けた課題を把握しその解決にあたります。



ふくしまで働こう！

福島

復興エリア
求人特集



- 田村市
- 南相馬市
- 川俣町
- 広野町
- 楡葉町
- 富岡町
- 川内村
- 大熊町
- 双葉町
- 浪江町
- 葛尾村
- 飯館村



是非QRコードにスマホ・携帯を
かざして求人情報をチェックしてください

<https://求人ボックス.com/地方創生-福島県>



福島県内で避難指示等の対象となった被災12市町村の事業者等の求人情報を特集し、地域内外の求職者の方々のマッチングを支援します。

引越し代等をサポート！ 就職・転職にあたり転居を伴う方には **転居支援制度があります！** ※制度の利用には条件がございます。詳しくはご相談ください。

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局 E-mail info-fukushima@pasona.co.jp
 事業運営会社：株式会社パソナ (24時間受付)

協力：厚生労働省福島労働局、公益社団法人 福島相双復興推進機構 (福島相双復興官民合同チーム)

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない」「実際に面接に行ってみたい」など、まずは応募事務局へお気軽にお問い合わせください!